

みんなの ひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場総務課 TEL42-1613



引き込まれる絵本の世界

5/30 FTVアナウンサーによるお楽しみ朗読会



▲関口さん、若槻さんと一緒に絵本を朗読しました

ほんの森で、FTVアナウンサーの関口由香里さんと若槻麻美さんによる朗読会が開かれ、親子と図書ボランティアあわせて約80人が参加しました。

朗読会は、はじめに若槻さんによる「おでんさむらい こぶまきのまき」が朗読されました。

「おでんさむらい」が行われ、関口さん、若槻さんから「指3本くらい大きく口を開けましょう」とアドバイスを受けながら、参加者全員で発声練習を行いました。大きく響く声が出るようになったところで、「よくばりなこぐま」を「お兄さん熊」と「弟熊」のパートに分かれて、それぞれの

熊の気持ちになって皆で朗読しました。

最後に関口さんと若槻さんのお二人で「くまとやまねこ」を朗読。情景が目の前に浮かぶような感情のこもったプロの朗読に、参加者は絵本の世界に引き込まれていました。

お話し会終了後は、起き上がり小法師工作教室、移動図書館「あずま号」による本の貸し出し、学校図書ボランティア講座も行われ、親子で朗読の楽しさを体験しました。



▲関口さん（左）、若槻さん（右）による朗読



▲不要入れ歯回収ボックスは診療所に設置されています。

「不要入れ歯回収」へのご協力ありがとうございます。

村が、NPO法人日本入れ歯リサイクル協会（埼玉県）の協力を得て、取り組んでいる「不要入れ歯回収ボックス」が回収され、リサイクルされた代金の一部、5,606円が村社会福祉協議会に寄付されました。

今後も、「不要入れ歯」回収にご協力をお願いします。

おいしいお米楽しみだね

5/28

飯樋小学校児童が田植え体験



▲田植え体験を行う子どもたち

飯樋小学校の全児童が、農作業を通して、食の安全性や子どもたちの自立を育もうと、総合学習の時間を活用して、田植え体験学習を行いました。

赤石澤茂さん（飯樋町）所有の田んぼ約5アールを借り、有機栽培を行っている三坂勲さん（臼石）に稲苗の植え方の指導を受けました。また、耕作や水の管理は保護者の佐野裕さん（前田・八和木）にお世話になっています。

泥に足を入れたり、苗を植える作業は多くの子どもたちにとって初めての経験。はじめはぎこちない様子でしたが、ほどなく慣れ、腰をしっかりとかがめて植える姿は堂に入ったものがありました。

田植えを終えた子どもたちは「稲刈りも楽しみ」「おいしいお米ができるといいね」と話していました。

日本陸上競技連盟公認長距離走路認定設置事業

村にフルマラソンコースを作ろう！

5/28

飯館村フルマラソン日本陸連公認認定コース設置実行委員会



▲第1回委員会のようす

村は、日本陸連公認認定コースを取得し、距離を明確に表示することにより、村民の歩く運動の意識付けを図るとともに競技力向上を目指すことなどを目的として、「飯館村フルマラソン日本陸連公認認定コース設置実行委員会（斎藤源吉実行委員長）」を設立しました。

この事業は、コース公認認定を受けることでの優位性と村にある資源（自然・施設・人）を活用して、村外のアスリートや愛好者を誘客し、交流人口を図りながら、村の地域活性化及び経済効果に寄与できる村の財産とする事業です。

飯館村フルマラソン日本陸連公認認定コース実行委員名簿

氏 名	選 出 区 分	氏 名	選 出 区 分
◎斎藤 源吉	飯館健走会 会長	大澤 和巳	村体育指導委員 副委員長
○長谷川長喜	村商工会 会長	大内 雄治	いいたてスポーツクラブ理事長
木村 富夫	南相馬警察署飯館駐在所 所長	菅野 清	いいたてスポーツクラブ理事
斎藤 政行	行政区長会 会長	菅野 茂	飯館健走会
佐藤 峯夫	飯館楽園(株) 取締役専務	林 英滋	飯館健走会
熊谷 清	もりの駅まごころマネージャー	佐藤 彰洋	飯館アスレチッククラブ会長
大東 正男	村老人クラブ 会長	巻野 修一	飯館アスレチッククラブ副会長
西尾 ツネ	村婦人会 会長	菅野 司郎	村保健福祉課 課長
武山 弘	村小中学校長会(臼石小校長)	(事)中川 喜昭	村生涯学習課 課長
渡邊 茂興	村交通指導委員 委員長	(事)庄司 稔	村生涯学習課 係長
中川ひろみ	村体育指導委員 委員長	(事)森永 伸一	村生涯学習課 社会教育主事

◎…実行委員長 ○…副実行委員長 (事)…事務局



▲参加者 160 人がウォーキングを楽しみました。

真野ダム周辺開発協議会では、はやま湖周辺の新緑の湖畔や自然を感じてもらおうと、昨年に続き「はやま湖新緑ウォーク」を開催しました。

コースは真野ダム事務所からダム堰堤を渡って大倉体育館に向かう5キロコースと真野ダムを1周する10キロコースに分かれてスタートしました。

この日は、曇り空の広がる天気でしたが、須賀川市やいわき市などから参加する家族等もあり、村内外合わせて約160人が、風が運ぶ緑の香りを感じながら、それぞれのペースでウォーキングを楽しんでいました。

また、ウォーキング後には「大倉の神楽」、「須の虎捕太鼓」の披露や大倉婦人会による「豚汁」がふるまわれました。

こころの
ぽけっと

スモールイズビューティフル (小さいことはいいことだ)

百年に一度と言われる大不況が、飯館村にも押し寄せてきています。その大不況の中、頑張ってもらっている村内の企業に、人員整理などせずに何とか切り抜けて欲しいものとの村からの思いを先日伝えたところです。

今回、平成15年の大冷害以来、約1億円の貯金を雇用を中心とした企業支援に使わせていただきました。

6000人程の村で1億円というのは6万人の自治体であれば10億円、30万人の都市であれば、50億円の経済雇用対策となります。

多分、これ程の不況対策は、他の市町村では余り無いのではないかと思います。それを飯館村が出来たということは議会のご理解があったからでもあります。すが、もうひとつ、「小さな村」ゆえに、

すぐ舵が切れる、つまり小回りを利かせ対応ができたということも大きな要因です。いざ何かあれば、村長以下全職員そして全議員が顔を突き合わせてテキパキと対応が出来るということです。

小さな自治体のために、不利なことも当然ありますが、今回の企業支援のように、小さな自治体だから出来るということとを本気になって探したり、進めたりしていくことが「ないものねだり」から「あるもの活かし」になり、村民のための行政にもつながる訳です。

3月末に定額給付金を各行政区にお世話になり、現金で渡せたのもその一つでした。子育てまでいクーポン券を毎年200人程に発行できるのも小さいからこそ出来ることだと思います。

これからも「小さいからこそ出来ること」とや「飯館村だからこそ出来た」ようなものを見つけて、村民のため一生懸命働いている役場にしていきたいものです。それも1つの「まideaライフ」ではないでしょうか。

今、村の「まideaライフ」はもうすっかり全国的に注目される「まideaライフ」になりつつあるようです。皆で「まideaライフ」をまideaにしていきましょう。

平成21年5月27日

飯館村長 菅野 典雄



誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ

親の氏名

行政区

遠藤 風花ちゃん 勝弘・良恵 比 曾

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏 名

行政区



矢田 涼平
阿部 美鈴

郡山市
二枚橋・須萱



杉上 友和
今野 友美

蕨平市
南相馬市



北山 衛佳
佐藤 優佳

飯樋町
宮内



菅野 慎吾
安齋 友美

関根・松塚
二本松市

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏

名

年齢

行政区

小林	由衛	81	前田・八和木
佐藤	アヤ子	78	草野
青木	カツヨ	90	二枚橋・須萱
青柳	時子	81	二枚橋・須萱
北山	五郎	87	飯樋町
齋藤	アヤ子	71	上飯樋
佐藤	源二	90	二枚橋・須萱
武沢	キミヨ	78	草野

ご冥福をお祈り申し上げます

(4月21日から5月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成21年5月1日現在)

人口		今月 (前月比)	昨年同期
男	男	3105人 (+1人)	3148人
	女	3096人 (-2人)	3167人
計		6201人 (-1人)	6315人
世帯数		1706戸 (+18戸)	1693戸

◆◆◆4月1日～30までの人口動態◆◆◆			
転入	29人	転出	20人
出生	3人	死亡	13人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)



▲開通した「農道神前中頃線」



▲改良工事が行われた「大火比曾線」

「農道神前中頃線」
「大火比曾線」が開通

スムーズな通行へ

県の直轄事業「ふるさと農道整備事業」により、村へ譲与された、関沢・芦原間を結ぶ全長440メートルの「農道神前中頃線」(芦原・関沢地内)が開通しました。

また、140メートルの道路改良工事を行った「大火比曾線」(飯樋字岩部地内)についても工事が完了し、現在開通しています。

両線の開通により、通行や所要時間の短縮など交通の利便性や安全性が向上すると期待されています。

「林道市沢古今明線」林道維持管理コンクール表彰!



▲表彰された「林道市沢古今明線」

コンクールは、林道維持管理の向上や通行の安全確保等に資することを目的として、毎年開催されているものです。

村では、今後も、安全でスムーズな自動車通行を確保するため維持管理に努めていきます。

社団法人福島県林業協会の平成21年度林道維持管理コンクールにおいて、「林道市沢古今明線」が優秀な路線として表彰されました。